



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 三信電気株式会社

コード番号 8150 URL <http://www.sanshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松永 光正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 西尾 圭司

TEL 03-3453-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	113,414	△16.0	722	△59.7	646	△64.3	390	△69.3
23年3月期第3四半期	135,086	△3.5	1,792	0.2	1,811	2.2	1,268	4.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △310百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 208百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	12.88	—
23年3月期第3四半期	41.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	82,611	58,679	71.0
23年3月期	92,422	59,596	64.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 58,679百万円 23年3月期 59,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	△19.5	800	△63.0	800	△64.6	500	△65.5	16.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	30,281,373 株	23年3月期	30,281,373 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,145 株	23年3月期	965 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	30,280,355 株	23年3月期3Q	30,280,587 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では一部改善の兆しが見えたものの景気の下振れ懸念を払拭するには至らず、欧州では財政問題がますます深刻化し、ユーロ安が進行しました。中国やインドをはじめとするアジア諸国におきましても景気拡大・回復のテンポが鈍化するなど、世界経済は全体的に厳しい情勢となりました。また、我が国経済につきましても、長引く円高や株価の低迷など厳しい情勢が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、厳しい世界経済の情勢や円高に加え、タイでの洪水被害による影響など、先行き不透明感が強まりました。

このようななか当社グループは、事業力の強化と経営基盤の整備に取り組み、売上高の増加並びに収益力の向上に努めてまいりました。

しかしながら、事業環境の変化や東日本大震災、タイ洪水被害の影響などにより、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は1,134億14百万円（前年同期比16.0%減）と大幅に減少し、利益面でも売上高の減少により売上総利益が減少したことから、営業利益は7億22百万円（前年同期比59.7%減）、経常利益は6億46百万円（前年同期比64.3%減）、四半期純利益は3億90百万円（前年同期比69.3%減）となりました。

セグメント業績概況

(デバイス事業)

デバイス事業におきましては、主にエレクトロニクスメーカー向けに半導体（システムLSI、マイコン、液晶ディスプレイドライバIC、メモリ等）や電子部品（コネクタ、コンデンサ、回路基板等）の販売に加え、ソフト開発やASIC設計等の技術サポートを行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、半導体は主要仕入先の統合に伴い獲得した新規商流が増加したものの、家庭用ゲーム機並びにデジタル家電向けシステムLSIや携帯電話向けチップセットなどが減少し、売上高が前年同期に比べ減少いたしました。また、電子部品につきましても、デジタル家電向けコネクタが堅調に推移したものの、家庭用ゲーム機向けなどが減少し、売上高が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、連結デバイス事業の売上高は1,063億95百万円（前年同期比16.5%減）、セグメント損益は6億33百万円（前年同期比66.1%減）となりました。

なお、受注高は1,003億29百万円、受注残高は305億93百万円となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、主に企業や医療機関、官公庁、自治体向けに情報通信ネットワークや基幹業務システムの販売及び保守・サポート等を行うネットワークシステム関連ビジネスと、放送局や映像制作のプロダクション向けに映像コンテンツの編集や送出、配信に使用するシステムやソフトウェアの販売等を行う映像システム関連ビジネスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、映像システム関連ビジネスは堅調に推移したものの、ネットワークシステム関連ビジネスは公共向けなどが減少し、売上高が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、連結ソリューション事業の売上高は70億18百万円（前年同期比8.6%減）、セグメント損益は保守やサポートなどのノンハード売上高の増加により売上総利益が改善し、3億28百万円（前年同期比87.2%増）となりました。

なお、受注高は81億88百万円、受注残高は55億63百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて98億11百万円減少し、826億11百万円となりました。これは主に売上債権の減少143億40百万円、商品の減少28億16百万円、現金及び預金の増加86億70百万円等によるものです。

また、負債は、前連結会計年度末に比べて88億94百万円減少し、239億32百万円となりました。これは主に仕入債務の減少78億28百万円、短期借入金の減少10億12百万円等によるものです。

純資産は、利益剰余金の減少2億15百万円、為替換算調整勘定の減少6億20百万円等により9億16百万円減少し、586億79百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、厳しい市場環境を背景にデジタル家電や家庭用ゲーム機向けの販売低迷が見込まれること、またタイでの洪水被害による連結業績への影響が徐々に顕在化してきたことなどから、売上高は当初予想を大幅に下回る見込みです。また利益面におきましても、売上高減少による売上総利益の減少が大きく影響し、売上総利益率の改善や販売費及び一般管理費削減では補えないことから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想より大幅に下回る見込みです。

この結果、通期の連結業績予想につきましては、平成24年3月期第2四半期決算短信（平成23年11月4日発表）に記載した予想数値を下記の通り変更しております。なお、通期の連結業績予想の前提となる為替換算レートは、1米ドル=78円（上期 79.82円、下期 76円）を想定しており、前回の発表から変更しておりません。詳細につきましては、本日（平成24年2月3日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（通期連結業績見直し）

売上高	1,470.0億円	（前期比 19.5%減）
営業利益	8.0億円	（前期比 63.0%減）
経常利益	8.0億円	（前期比 64.6%減）
当期純利益	5.0億円	（前期比 65.5%減）

（為替換算レートの前提）

通期：1米ドル=78円

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（税金費用の計算方法の変更）

従来、税金費用については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、年度決算と同様の方法にて計算する方法に変更しております。

これは、得意先の海外生産移管が進むなか、税金等調整前四半期純利益に対する連結子会社からの受取配当金等永久に益金に算入されない項目の割合が年度の見積実効税率の算出における課税所得に対する割合に比べて高くなったため、従前の方法では、四半期連結累計期間の経営成績を適切に反映できないと判断し、年度決算同様の方法を採用することによって四半期連結累計期間の課税所得に対応する税金費用をより正確に反映させるとともに経営成績をより適切に表示することを目的として行ったものです。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、主に前第3四半期連結累計期間の法人税等合計が102百万円増加したことにより、四半期純利益は102百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,824	15,494
受取手形及び売掛金	54,856	40,515
商品	20,996	18,179
半成工事	14	70
その他	3,165	2,155
貸倒引当金	26	22
流動資産合計	85,830	76,392
固定資産		
有形固定資産	4,417	4,330
無形固定資産		
のれん	27	60
その他	265	168
無形固定資産合計	292	228
投資その他の資産		
その他	1,923	1,699
貸倒引当金	41	40
投資その他の資産合計	1,882	1,659
固定資産合計	6,592	6,218
資産合計	92,422	82,611
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,218	15,389
短期借入金	7,788	6,776
未払法人税等	135	147
引当金	638	278
その他	821	1,125
流動負債合計	32,601	23,717
固定負債	224	215
負債合計	32,826	23,932

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,811	14,811
資本剰余金	15,329	15,329
利益剰余金	32,215	31,999
自己株式	0	0
株主資本合計	62,355	62,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98	1
繰延ヘッジ損益	22	3
為替換算調整勘定	2,835	3,456
その他の包括利益累計額合計	2,759	3,460
純資産合計	59,596	58,679
負債純資産合計	92,422	82,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	135,086	113,414
売上原価	126,357	105,641
売上総利益	8,728	7,773
販売費及び一般管理費	6,936	7,051
営業利益	1,792	722
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	119	15
その他	73	59
営業外収益合計	207	87
営業外費用		
支払利息	21	19
売上割引	25	8
為替差損	111	128
その他	29	7
営業外費用合計	189	162
経常利益	1,811	646
特別利益		
固定資産売却益	-	2
投資有価証券売却益	1	0
貸倒引当金戻入額	1	-
のれん譲渡益	3	-
特別利益合計	6	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	6
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	108	18
会員権評価損	-	8
特別損失合計	110	33
税金等調整前四半期純利益	1,707	615
法人税、住民税及び事業税	481	199
法人税等調整額	42	25
法人税等合計	438	225
少数株主損益調整前四半期純利益	1,268	390
四半期純利益	1,268	390

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,268	390
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	125	99
繰延ヘッジ損益	139	19
為替換算調整勘定	1,073	620
その他の包括利益合計	1,060	700
四半期包括利益	208	310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208	310
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	デバイス事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	127,407	7,679	135,086	-	135,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	127,407	7,679	135,086	-	135,086
セグメント利益	1,871	175	2,046	235	1,811

(注)1 セグメント利益の調整額 235百万円には、各報告セグメントに配分していない企画・総務・経理及び人事等管理部門に係る費用、各報告セグメントに配分した社内支払利息との調整額などが含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	デバイス事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	106,395	7,018	113,414	-	113,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	106,395	7,018	113,414	-	113,414
セグメント利益	633	328	962	315	646

(注)1 セグメント利益の調整額 315百万円には、各報告セグメントに配分していない企画・総務・経理及び人事等管理部門に係る費用、各報告セグメントに配分した社内支払利息との調整額などが含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。